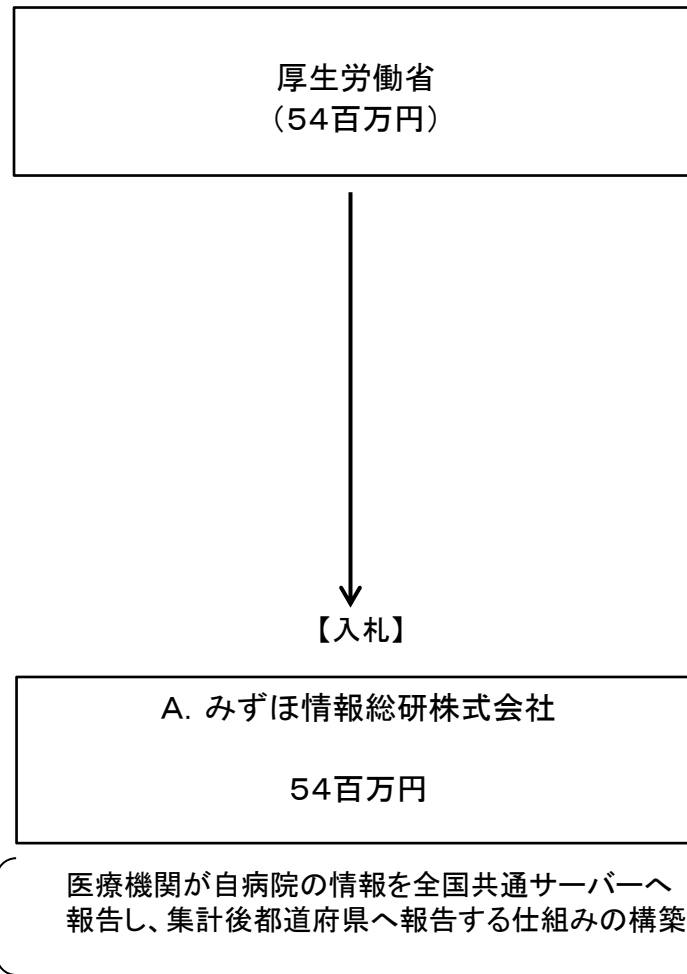


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	病床機能報告情報収集経費			担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課		課長：北波 孝	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律第4条第1項 医療法第30条の3の2			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	より効果的で効率的な医療・介護サービスの構築に向けて、病院・病床機能の分化・強化、在宅医療の推進、医師・看護職員の確保対策、チーム医療の推進等を内容とする医療サービス提供体制の制度改革に取り組めるようにすることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	病床機能情報の報告制度創設に伴い、医療機関がその有する病床において担っている医療機能をはじめ、提供している医療の内容に関する情報を全国共通サーバーに提出し、事業者は集計後、都道府県へ情報提供する。27年度からは、都道府県が策定する地域医療構想の基礎データとして使用できるよう、分析可能な収集システムにする改修を行う。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位：百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	41	71	71	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	39	-	-	
	計	0	0	80	71	71		
	執行額	-	-	54	-	-		
執行率(%)	-	-	68%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	医療機関の期限までの報告割合の向上	期限までの報告割合	成果実績		-	-	85	
			目標値	%	-	-	85	90
			達成度	%	-	-	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	ツールの導入件数	活動実績		-	-	1		
		当初見込み		-	-	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X/Y X:「執行額」 Y:「事業者数」	単位当たりコスト	円	-	-	54,000,000	71,000,000	
		計算式	X / Y	-	-	54,000,000/1	71,000,000/1	
平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	71	71					
	計	71	71					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	当制度は医療法に定める病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、病床の機能分化という政策目的の達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	27年度から地域医療構想策定に資するデータ分析を行えるよう新たなシステム改修を行うので、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途が事業目的に即し、必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札額が想定より低かったため。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は、成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は、見込みに合ったものである。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	全国の医療機関が、病床機能報告ツールを活用して報告をしている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	医療機関から全国共通サーバーへ報告できるよう、機能報告ツールを整備した。全国の医療機関はこのサーバーへ報告することで、制度の初年度であった病床機能報告制度の集計に役立てたと同時に、都道府県の負担の軽減につながったと思われる。			
	改善の方向性	26年度、報告いただいた医療機関からのアンケートを基に、医療機関がさらに報告しやすいツールに改修する。			
外部有識者の所見					
26年度で開発したシステムをどのように改修するのかの具体的な説明がない。また、使い勝手の改修にシステムの初期設計以上の予算が必要となる理由が不明確である。(増田)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	本事業は、医療サービス提供体制の制度改革に取り組む上で、必要な経費であるが、外部有識者の所見にもある通り、システムの改修内容やそれに伴う費用の妥当性について、本レビューシートで明らかにすること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	事業概要欄及び事業の効率性欄に追記を行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新26-003		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

A.みずほ情報総研株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	病床機能情報収集及び病床機能報告制度に係る業務	54			
計		54	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研株式会社	病床機能情報収集及び病床機能報告制度に係る業務	54.4		68.8%